



国立国会図書館

猿蟹ものがたり 208-78

ガラス使用

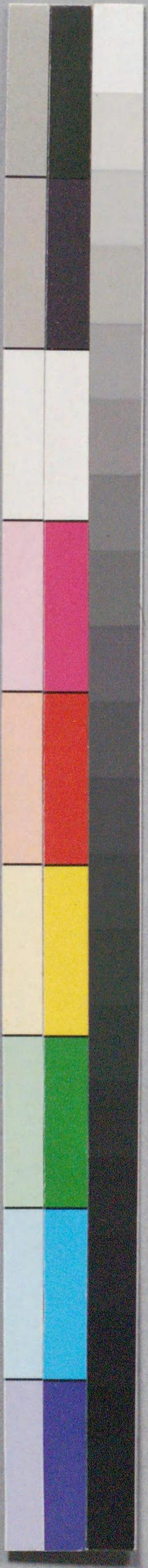
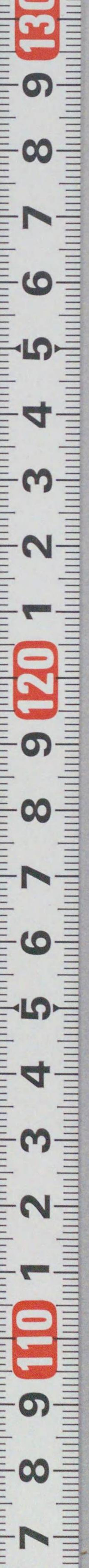
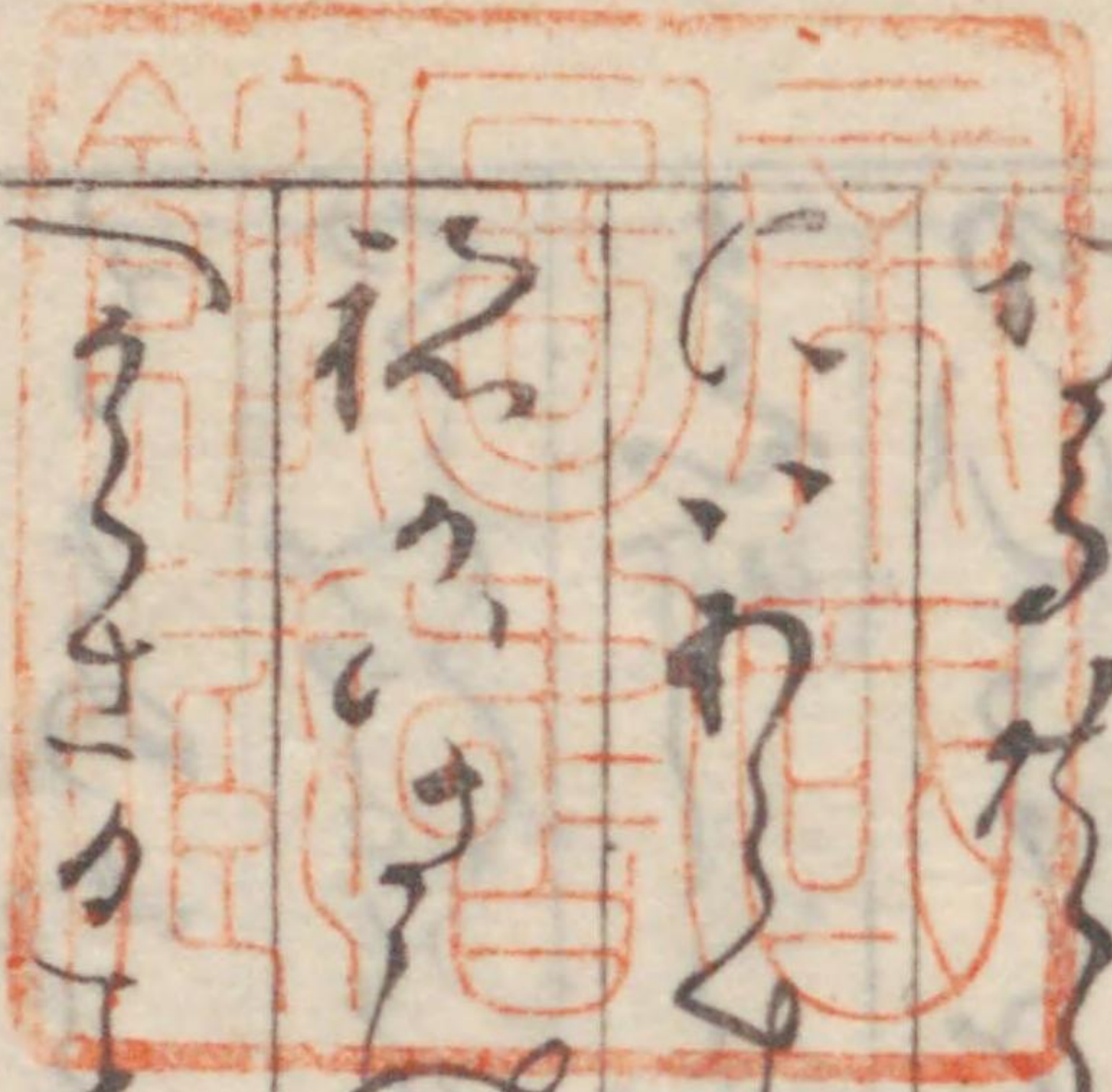
猿蟹物語

六掛馬狂文
巻九

208
78



猿蟹ものがたり
 昔は猿は山を登りて
 蟹を食ふ事なれり
 然るに山に火を
 焚きて猿は火を
 畏れて下りて川に
 落ちて蟹は川を
 渡りて山に登りて
 猿を食ふ事なれり



詞可るし一ていさのあましや
りしとこより出てきたかひ顔とせ
もまのあまらじきしやるし一たのれ
かほほるやかき大倉しとてあま
まがしとこいりやまもさし
のしよさのまてかまのま
のそつ

猿蟹ものがたり

咏蟹



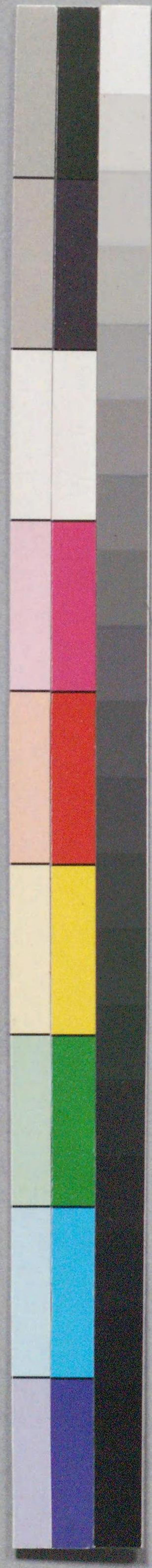
物皆難に性に性必傷情
我代渠儂道横行即直行

己丑五月
六、園主人囑 棕隠題



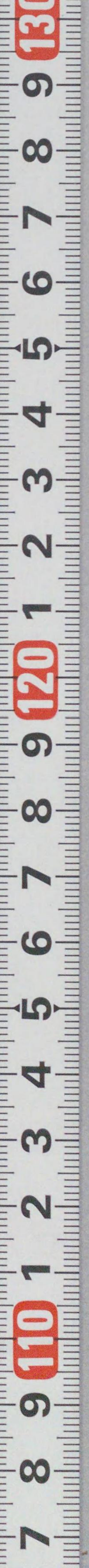
只振換目行
余一情解虫及思打敵
お梅素園子口本一
冠猿蟹物語ニそ

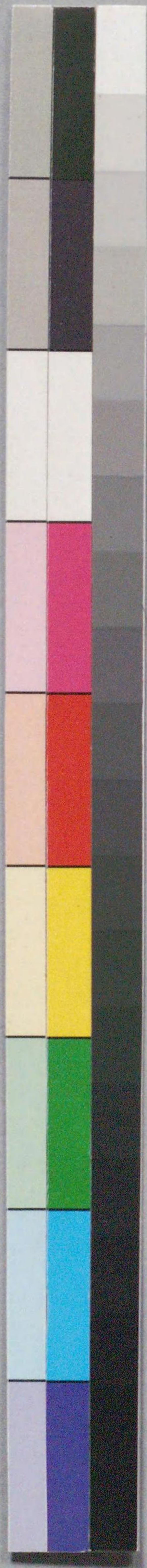
了ま(道)得ての後は
笛不氣琴飛き
安堂不^いよ^よ
多^あわ^らる^お
諸子





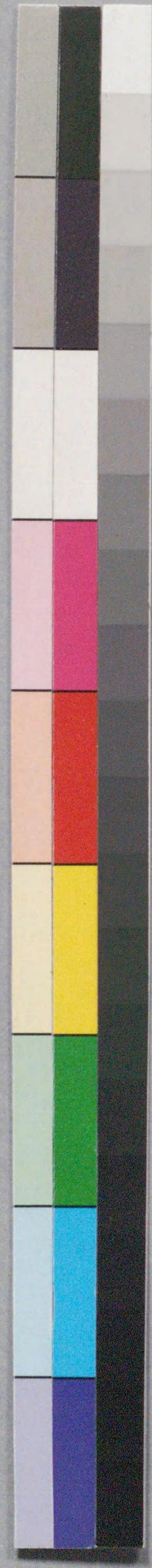
憶昔添乳時お袋結
 嘸^{スウラ}此^ラ頃^ニ兀^{ハダテ}未^ダ送^レ恩^ヲ可
 恥^ニ孝^リ蟬^ニ
 安^ル人^ノ◎





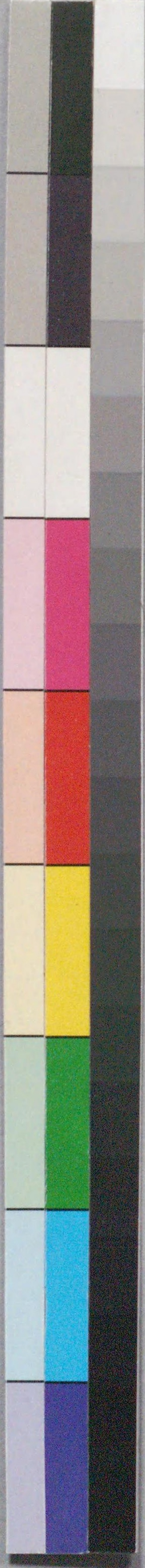
草履
 白紙
 万草也
 花
 草

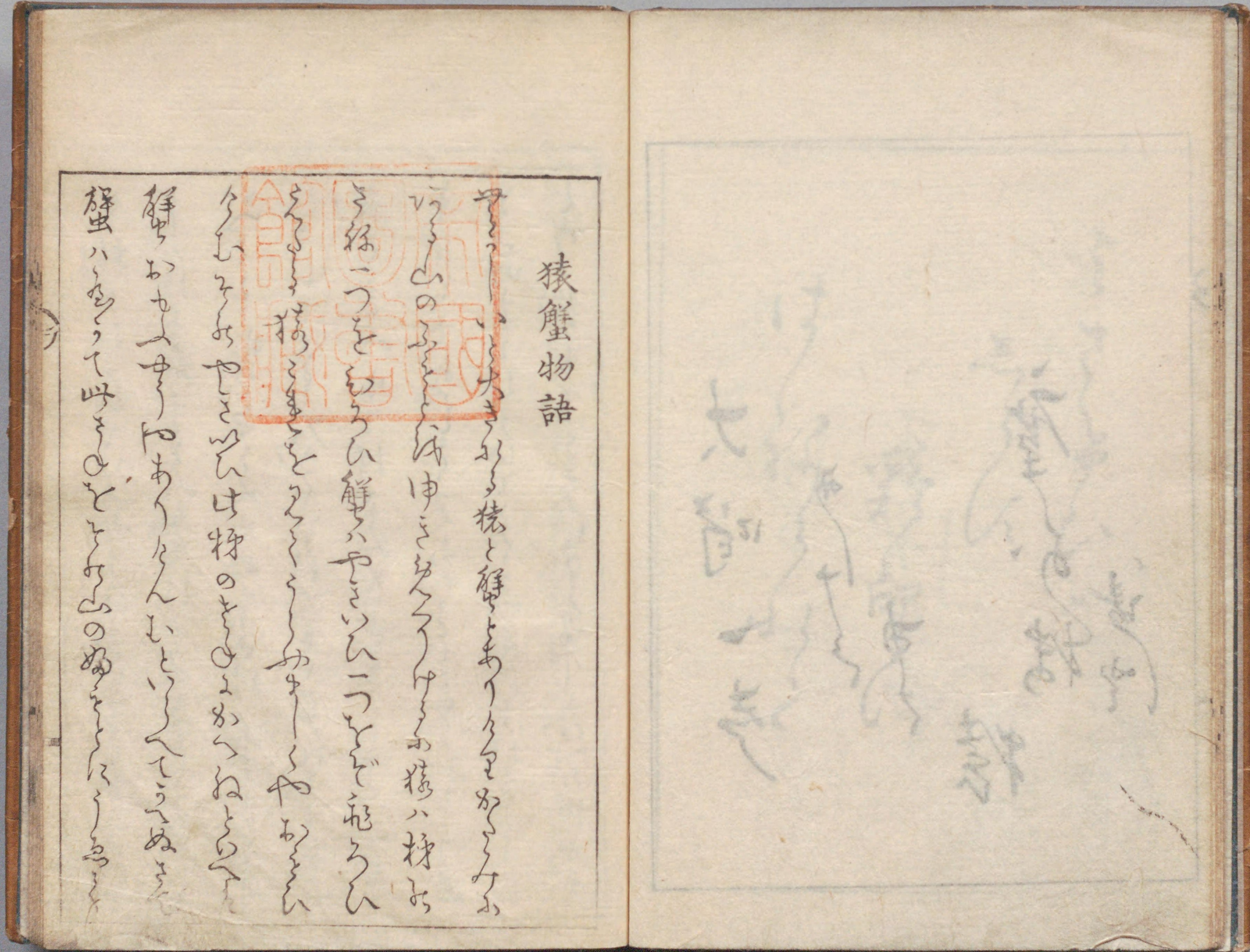
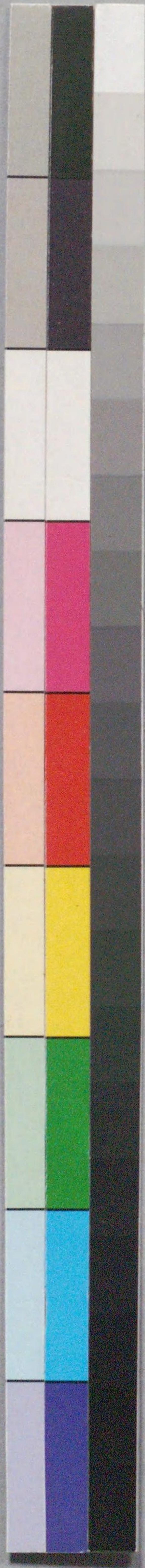
草履
 白紙
 万草也
 花
 草



摩訶
樓
精
申
大
管
一
夢

は
精
印
に
心
心
心





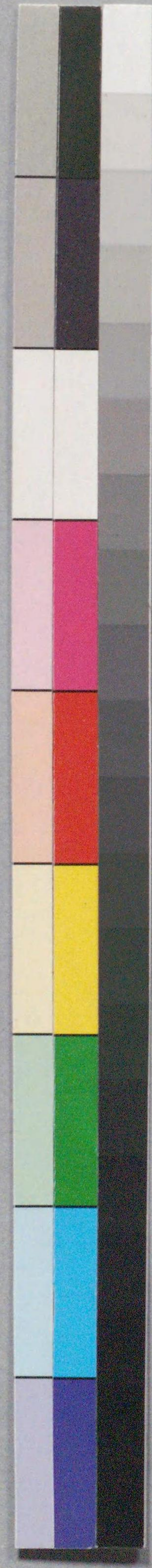
猿蟹物語

Handwritten Japanese text in a vertical column, starting with a red seal. The text is written in a cursive style.



まのうせんふいを様はらうしんこく
と梢のちりぬるとは様はらうふねのま
みふらうらういへ解きあつたあ
られ解きあつたあつたあつたあ
サ様はらうなうと様はらうと
申はらうはらうはらうはらうはらう
はらうはらうはらうはらうはらう
解きあつたあつたあつたあつたあ

いそれあつたあつたあつたあ
たふいふいふいふいふいふい
はらうはらうはらうはらうはらう
あつたあつたあつたあつたあ
解きあつたあつたあつたあつたあ
らうはらうはらうはらうはらう
つはらうはらうはらうはらうはらう
ふいふいふいふいふいふい



はときふくしきくううの梓あらくら
て様のからきくけをほきく
屋のくむ向きとまろびおらて
腰をうらぬ今もくくうもい
ねをいしきうて書ふあぬう
まこれをもまかまらぬお
うう大あをうけてまのれが
あろきく解のまにあらうて
の

れらいてんまらきくうの
まあううかからくく
くくくくくくくくく
くくくくくくくくく
くくくくくくくくく
くくくくくくくくく

六の周のひま
くくく

三



蟹

名ニヤ 竜廻屋弘器

文君、しこの浦辺の

酒ふよふあゝいふつ

蟹もいふええ

ろろと折れ

対しや蟹の眼も

よあつきん

サカヒ 聴風軒草浪

親の蟹しちや蟹の

なゝゝゝ天と

子とせ

ワカル 賢増亭 徳久



ワカ山 玉川舎毒也

猿くまの村の磯に甲やれ

さげとぬ蟹の腸も

越後六田

宝篋笠

母と天のかけも

つけてかたを

在長サキ

栗樹園

伊賀佳

けいもつちの相も

甲府

流霞亭真河

浜解り飯も

あつちのけいも



猿

サカヒ
聴風軒



杉人
ねん
栗
み
山猿

法の身と

大坂
月廼屋九雄

孫悟空

尾古渡
榴樹園花入

孫悟空の

か
雲間と

山猿

下木海道

桃廼屋種義

龜ついで
ねら

名古ヤ
竜瑞園弘主

向井ふけ

阿波
六柯園猿人

向き
解書

全
時雨茶濡丸

親の仇
さ



7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130

持

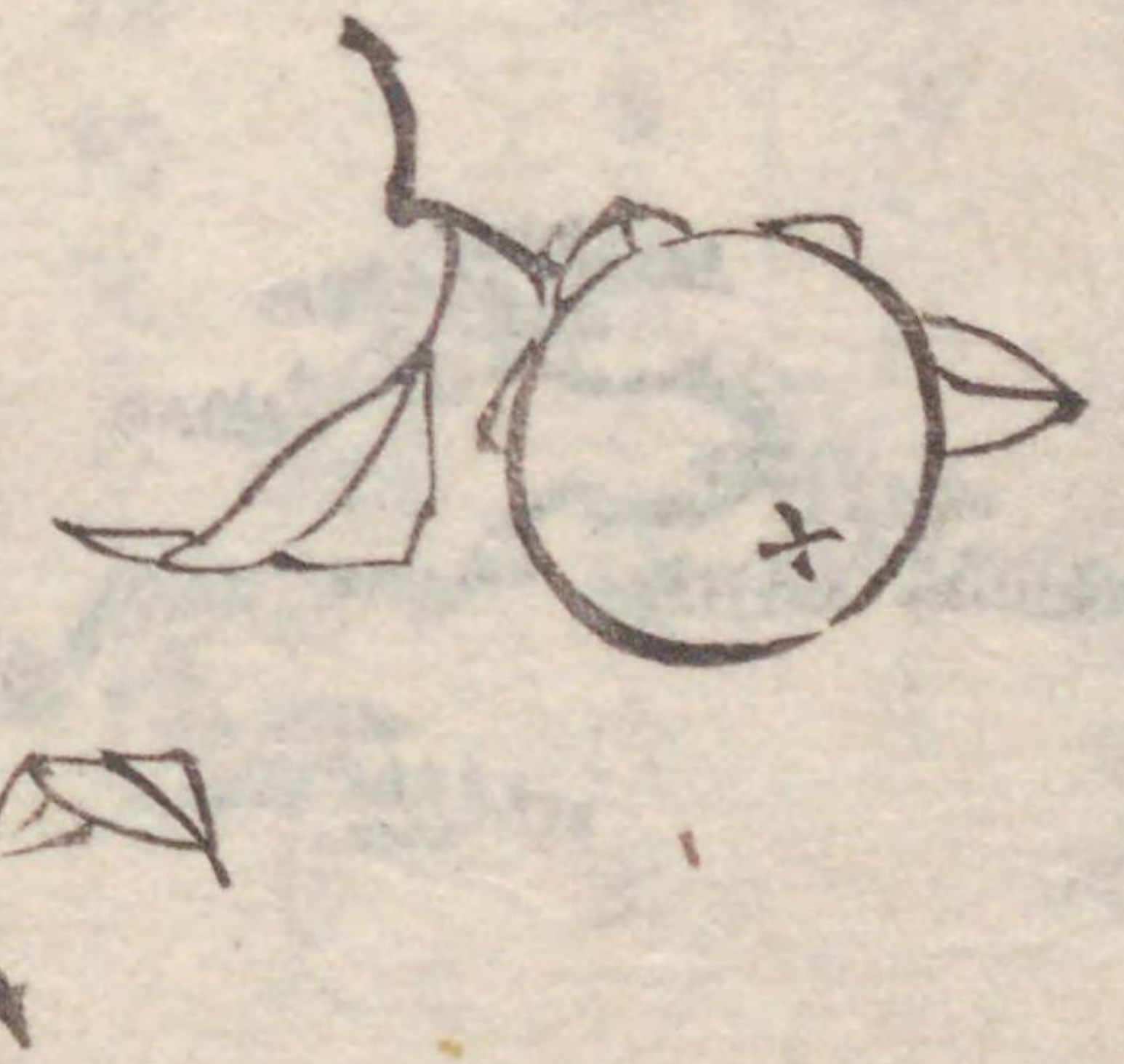
大阪 一應亭五百貫

熟したる材の... 有心...
せんといひ... 心も...
口カ山 毒也

熟したる折の梢...
子ら... 折もの...
下野國 松十郎

折ら... 折...
し... 折...
江戸 猿遊園仲貫

枝... 折の梢...
い... 折の...
猿遊園仲貫



黍團子

三夜豆助 便雪園文店

し... 折...
し... 折...
アハ 濡丸

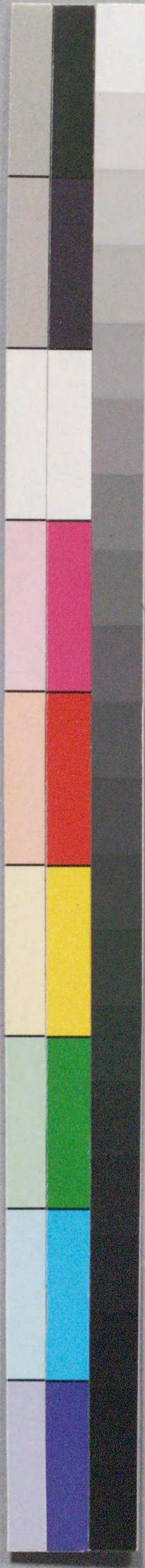
杵臼

折... 折...
折... 折...
仙タイ 千柳亭一葉

折... 折...

耳... 折...
これ... 折...





地火爐

在大阪 岳亭丘山

いけりののいひやとれつ
と短のいひやとれつ
鮮ふ紫の道義本

孝

アハ 濡丸

雪のちりのおやふ
いけりたかろれお
まろろふのふ
孝の徳

栗

三及西尾 木每文望

飯のいけりのいけり
申く中ふ枝子ととる
栗もいけり

アハ 猿人

昔解きん仇ととる
精あまふととる
名つけととる

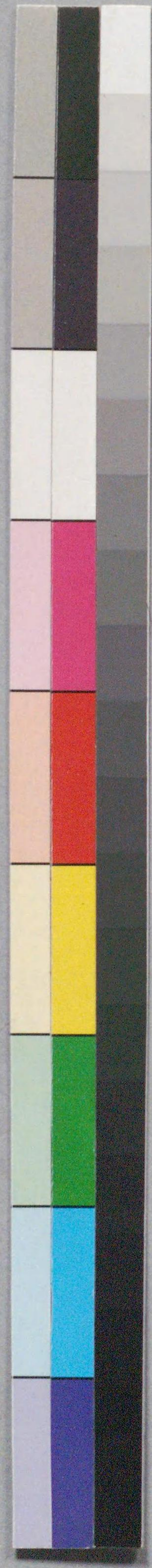
大坂

秋水園

落霞

おろろろととる
おろろろととる
おろろろととる
伏勢





牛糞

常及江戸サキ
長松園清女

引多りも糞をとりか
こころに白いもふと
とわは牛糞

出羽山カタ
華花園玉繁

半糞ふかたはる
様お魚のおやうゆもに
とくちうらん

アハ
猿人

残う印く中もさうさくハ
サくともやうりたもら
ちり出の

蜂

サカヒ
聴風軒

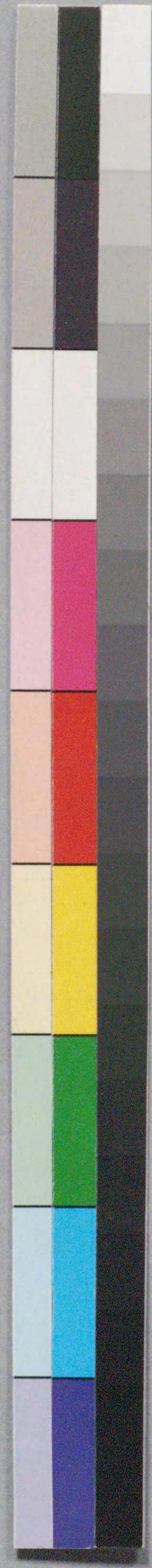
かたにうり
こころにいた
山蜂の
こころ

用いさうらん

秦太瓶

ほまし
はまし
糞杖瓶後世を
おこころに
引らん

在大阪
岳亭



精解の
 くらんも
 毛の山柳の
 金囊より
 いっし計算
 常長江戸キキ
 縁樹園元有

仇討解のくわいありらへり
 あらみ様もおしほききとす
 大阪 笑廼屋鬼澄

岳

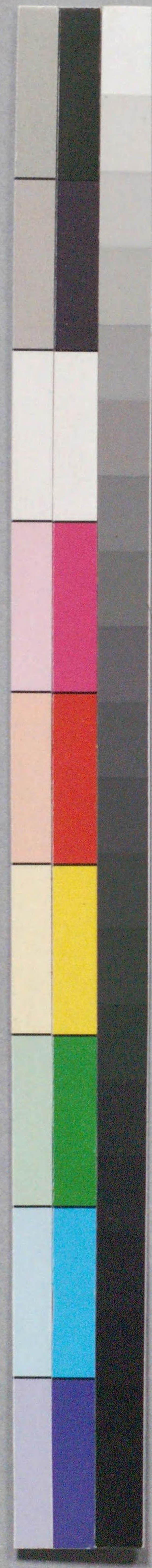
復讐
 山
 毒也
 精を
 解の
 軍の
 お家お
 呼まらへり
 笛や吹
 らん

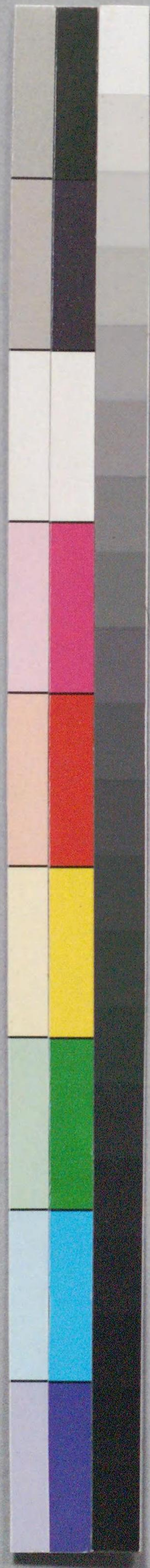


208
78

笛を吹奏するに類する
申さんともせん解きたる
おやの能言うつ孝行の解き
つらむも官にふかす
猿
たかりしといふ
栗峰よ

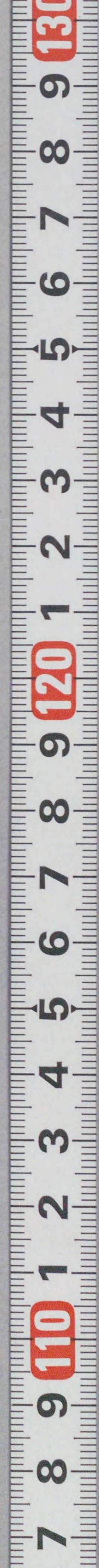
六々園

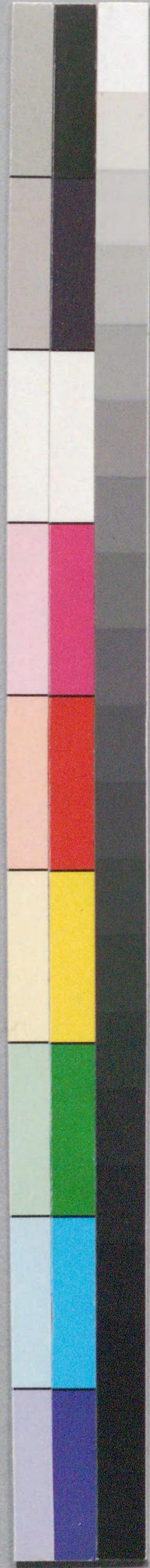




国立国会図書館 猿蟹ものがたり 208-78

ガラス使用





国立国会図書館 猿蟹ものがたり 208-78



ガラス使用

